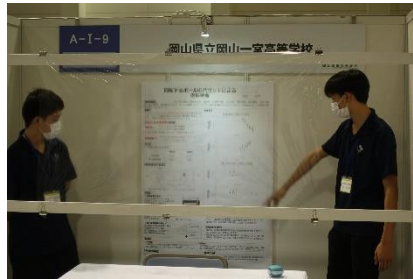
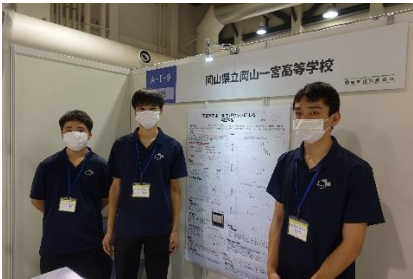


SSH 生徒研究発表会

8月4日（水）に神戸国際展示場でSSHの全国大会であるSSH 生徒研究発表会が行われました。

本校から理数科3年のボール班が参加し、「回転するボールのバウンドによる逆転現象」について発表をしました。全国から集まったSSH校代表によるポスター発表が行われ、質疑応答を通じて活発な議論が繰り広げられていました。専門的な視点から多くの意見を頂き、それに対して丁寧に粘り強く受け答えをしている姿を見て、この経験を通してたくさんのことを学び、成長していると感じることができました。

発表した生徒からは、「残念ながら代表校には選ばれませんでした。が、他校の発表から多くの刺激を受け、今後の研究や進路につながる良い経験をする事ができました。」との感想が出されました。



【SSH 生徒研究発表会審査委員長から全参加校に対しての講評】

◎よかったこと

- 楽しみながら意欲的に研究に取り組んでいる様子がかがえた。
- 研究の成果に満足せず、さらに探究しようとする姿勢が感じられた。
- 自分自身の素朴な疑問や経験を基に、生徒自らが主体的に考えたテーマが多かった。
- 自分自身の発想で仮説を立て、計画立案にも様々な工夫が見られた。
- いろいろな先行文献や研究者等からアドバイスをしっかりと受け止め、自分やグループなりに考える研究が見られた。
- データに基づいて論理的に説明しようとしていた。

◎今後の改善に向けて

- 身近なものなどから自分自身で見いだした研究テーマであってほしい。
- 先輩からの継続研究だとしても、研究動機は何か、自分の言葉で述べてほしい。
- 先行研究をよく調べて、違いを明確にしてほしい。
- 先輩からの継続研究であっても、自分たちの独創性や新規性を強調してほしい。
- 研究により何が明確になり、何が課題として残されたのかを明示してほしい。
- 研究者・技術者の倫理、生命倫理に十分留意してほしい。
- 多くを学び、たくさんの経験、興味・関心を持つことが大切である。

◎高校生の皆さんへ

- 自分事として考え続けよう。「驚き」、「感動」を大切にしよう。
- 失敗も恐れずに、生かすことを考えよう。可視化、見える化も考えよう。
- 様々な人たちと議論し、厳しい意見も受け止め、研究の改善につながる意識を大切にしよう。グローバルな視点を持ち、次に生かすことを考え続けよう。